

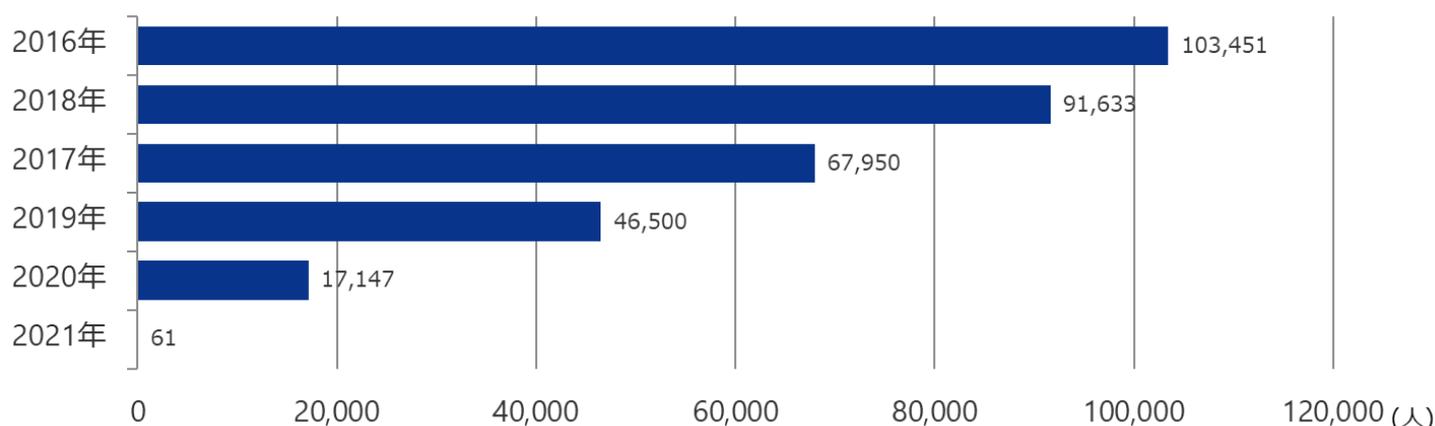
**今シーズンは季節性インフルエンザの流行なし
処方患者数も緊急事態宣言前の水準に
～JMIRI 処方情報データベースにおける調査より～**

医療情報サービスを手がける株式会社医療情報総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：佐藤 暢章、以下 JMIRI）は、独自に運用する「JMIRI 処方情報データベース」の2021年2月データを基に、新型コロナウイルスの感染拡大が処方箋データに与えた影響を調査・分析しました。

1. 2020/2021 シーズンは季節性インフルエンザ流行せず

2021年2月のインフルエンザ患者数は前年同月比で約280分の1、2016年～2020年2月平均比で約1070分の1となりました。例年、インフルエンザ患者数は1月、2月にピークを迎えますが、2020/2021シーズンは12月をピークに患者数が減ってきており(12月141人、1月87人、2月61人)、今シーズンは季節性インフルエンザの流行なく終焉を迎えそうです。2019/2020シーズンも患者数が少ない年でしたが、今シーズンほど患者数が少ない年は直近10年で例がなく、特異的な年であったことがわかります。手洗いうがいやマスクの着用、ソーシャルディスタンスといった基本的な感染症対策の徹底もあり、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行という、最悪の事態は回避できたようです。

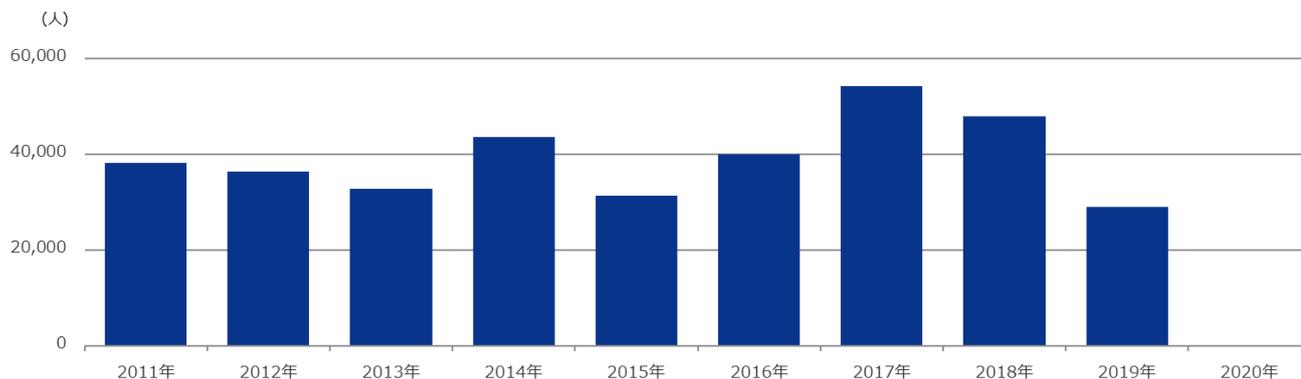
■ 2月のインフルエンザ治療薬処方患者数(2016年以降)



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析
患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている調剤薬局で調剤を受けた患者の数

■インフルエンザ治療薬処方患者数推移(各年9月～翌年2月の合計患者数)



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

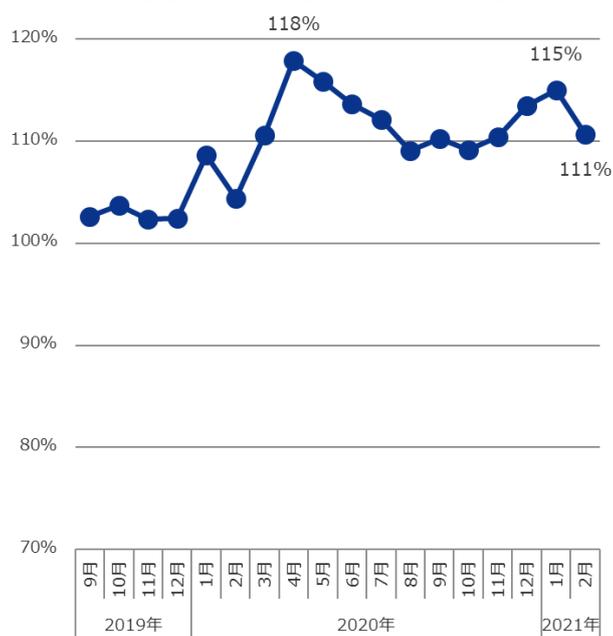
院外調剤薬局で調剤可能なオセルタミビル、ザナミビル、ラニナミビル、パロキサビルを処方された患者を対象として分析

患者数は JMIRI 処方情報データベースに登録されている過去 10 年追跡可能な調剤薬局で各年の 9 月～翌年 2 月に調剤を受けた患者の数

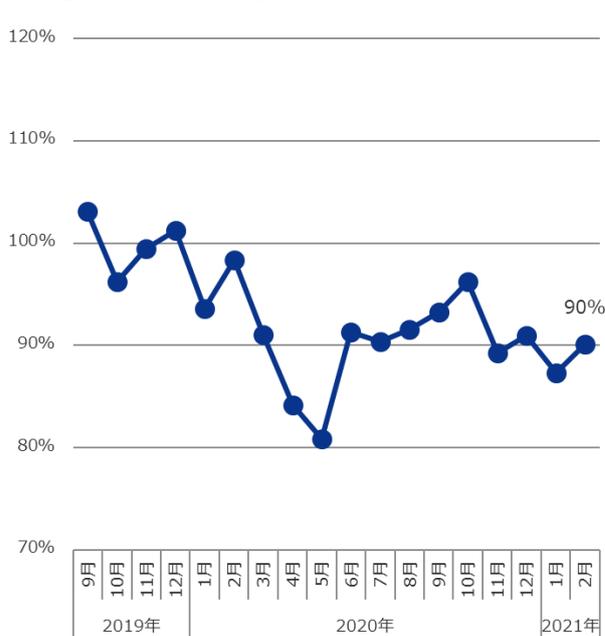
2. 処方日数、患者数は緊急事態宣言前の水準に

2月の平均処方日数は前年同月比 111%増(111%)、患者数は前年同月比 10%減(90%)となりました。医療機関における一回あたりの平均処方日数は 12 月、1 月と増加傾向でしたが、2 月は 2 回目の「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」(以下 緊急事態宣言)前の水準まで戻っています。2 月に処方を受けた患者数の前年同月比は前月比 3pt 増となりました。新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向となったこともあり、受診行動も元に戻りつつあるようです。一方、新規感染者数の減少スピード鈍化や首都圏 1 都 3 県の緊急事態宣言延長など、再度受診控えが起こる要素も浮上しており、引き続き動きを見ていく必要があります。

■一回あたりの平均処方日数の前年同月比



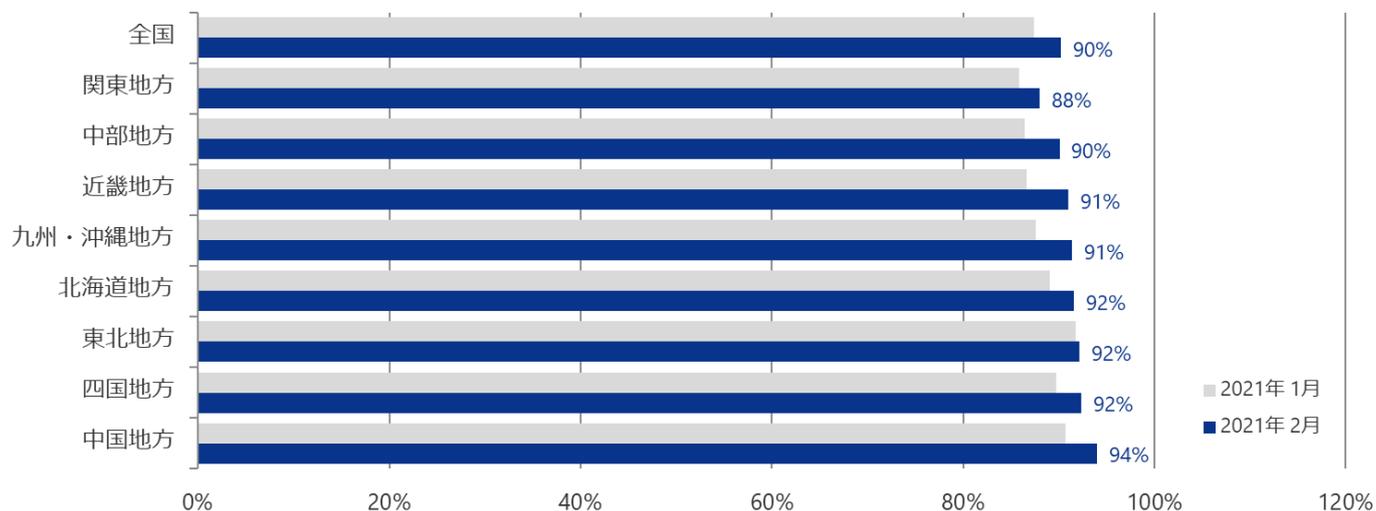
■患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

患者数の前年同月比を地域別に見ると、2月は新規感染者数が依然高水準で推移している関東地方でやや動きが鈍いものの、全国的に患者数の戻りが見られました。

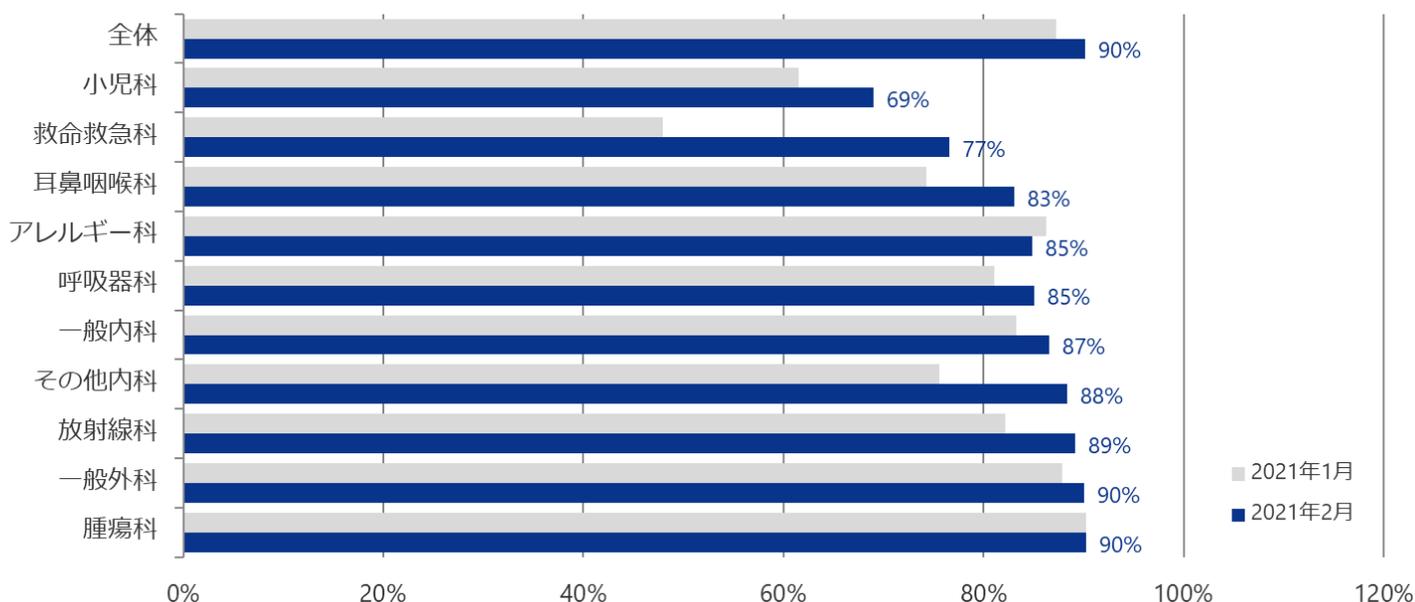
■地域別患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

患者数の前年同月比を診療科別に見ると、2月は1月に大幅減となった救命救急科が前月比 29pt 増と大きく回復しています。新型コロナウイルス感染症の重傷者も減少し、医療現場の逼迫具合が緩和された結果と考えられます。

■診療科別患者数の前年同月比



株式会社医療情報総合研究所 JMIRI 処方情報データベース

JMIRI の全診療科(30種)より 2021年2月の前年同月比が低い 10 診療科を抽出

3月7日まで延長されていた2回目の緊急事態宣言は、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県が2月28日をもって前倒し解除された一方で、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県は3月21日まで再延長されました。緊急事態宣言下にある2月に平均処方日数や患者数に回復傾向が見られたことから、今回の再延長は受診行動に大きな影響を与えないと推測されますが、新規感染者数の下げ止まりや再拡大が見られた場合には再度動きが出る可能性があります、3月以降もしばらく状況を注視していく必要があります。

JMIRIは国内で初めて「処方箋データベース」の運用を開始し、15年間のデータを用いて迅速な解析データの提供を行っています。今後も日本全国の処方実態をいち早くお伝えしてまいります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社医療情報総合研究所 企画開発部 鹿島田
Eメール: cs@intage.com Tel:03-5294-5990

株式会社医療情報総合研究所 会社概要

会社名 : 株式会社医療情報総合研究所 (略称: JMIRI/ジェイミリ)
所在地 : 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ13階
代表者 : 代表取締役社長 佐藤 暢章
設立日 : 2005年7月14日
資本金 : 1億8,825万円 (株式会社インテージヘルスケア100%出資)
事業内容 :

当社は2005年に設立以来、「患者中心の医療・健康情報ネットワークに基づく患者指向のマーケティング支援」をコンセプトに、医療情報(処方情報、患者情報、医師・薬剤師の声)の収集、解析、および提供・販売を行っております。

2020年7月、インテージグループ内にある医療用医薬品関連のファクトデータ事業をJMIRIに集約。今後、新たなソリューションの開発に注力してまいります。

URL : <https://www.jmiri.jp/>
